

2015 年 7 月 日语能力考试 N2 真题

文字词汇

問題1 _____の言葉の読み方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1) ここは省略してもかまわない。

1. しょうかく 2. しょうらく 3. しょうじゃく 4. しょうりやく

(2) 研修内容は、日程も含めて、今日中にお知らせします。

1. ふくめて 2. さだめて 3. かためて 4. まとめて

(3) 慣れるとつい油断して失敗してしまう。

1. よたん 2. ゆたん 3. よだん 4. ゆだん

(4) 明日は学校の行事に参加します。

1. ぎょうごと 2. こうごと 3. ぎょうじ 4. こうじ

(5) この世代の人たちはコンピュータの知識が乏しいように思います。

1. くわしい 2. とぼしい 3. まずしい 4. あやしい

問題2 _____の言葉を漢字で書くとき、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

(6) A地点からB地点までのきょりを測った。

1. 距離 2. 距理 3. 拒離 4. 拒理

(7) おどろかせてしまって、すみません。

1. 怖かせて 2. 焦かせて 3. 驚かせて 4. 騒かせて

(8) 森(もり)さんは塾のこうしをしています。

1. 構師 2. 構士 3. 講師 4. 講士

(9) 今日もまだうでに痛みがあります。

1. 腹 2. 胸 3. 腰 4. 腕

(10) 姉はたくさんの友達にめぐまれている。

1. 恵まれて 2. 善まれて 3. 幸まれて 4. 喜まれて

問題3 ()に入れるのに最も近いものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(11) 社長の代わりに()社長が会見を行った。

1. 従 2. 準 3. 補 4. 副

(12) 彼の発言は()責任だと批判された。

1. 不 2. 無 3. 放 4. 否

(13) 週末の遊園地は、子ども()の客でいっぱいだった。

1. 連れ 2. 込み 3. 付き 4. 加え

(14) 友達にパーティーの招待()を送った。

1. 書 2. 便 3. 状 4. 紙

(15). 弟は、買ったばかりの（ ）新しい靴をはいて出かけていった。

1. 実 2. 真 3. 素 4. 本

問題4 （ ）に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(16). この学校の（ ）は、国際交流が盛(さか)んなことだ。

1. 得点 2. 性能 3. 効用 4. 特色

(17). だんだん雨が激しくなって、傘(かさ)を差していたのに服が（ ）ぬれてしまった。

1. すっきり 2. ぎっしり 3. びっしょり 4. ぴったり

(18). このチームは何度も優勝し、（ ）成績を残している。

1. 力(ちから)強(づよ)い 2. 輝(かがや)かしい 3. 分(ぶ)厚(あつ)い 4. 限(かぎ)りない

(19). A ホテルは大通りに（ ）いて、分かりやすい場所にある。

1. 当たって 2. 触れて 3. 面して 4. 合わせて

(20). それは、問題点を的確にとらえた（ ）質問だった。

1. するどい 2. にぶい 3. けわしい 4. ゆるい

(21). このいすは、大きさがちょうどいいし、色や（ ）も気に入っている。

1. インテリア 2. スペース 3. リビング 4. デザイン

(22). 一つの考え方に縛(しば)られず、（ ）思考を持つことで、新しい発想が生まれるだろう。

1. 快適な 2. 柔軟な 3. 円満な 4. 順調な

問題5 _____の言葉に意味が最も近いものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(23). 森(もり)さんはこの辺りに店を所有しているらしい。

1. 探して 2. 借りて 3. 持って 4. 建てて

(24). 佐(さ)藤(とう)さんはおそらく来ないと思う。

1. たぶん 2. 当然 3. やはり 4. 絶対

(25). まだ収納していない物がたくさんある。

1. 集めて 2. 預けて 3. 返して 4. しまつて

(26). 妹は母に似て小(こ)柄(がら)だ。

1. 声が小さい 2. 力が弱い 3. 体が小さい 4. 心が弱い

(27). 鈴(すず)木(き)さんは無口だ。

1. あまり笑わない 2. あまり話さない 3. あまり怒らない 4. あまり食べない

問題6 次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(28). 温暖

1. 佐(さ)藤(とう)さんはいつも厳(きび)しいが、本当はとても温暖な性格の人だ。
2. 冷めるとおいしくないので、なるべく温暖なうちに召(め)し上(あ)がってください。
3. この地方は温暖で暮らしやすく、野菜や果物などの農産物も豊富だ。
4. エアコンをつけたら、部屋の中が温暖になって眠くなってきた。

(29). 振(ふ)り向(む)く

1. だれかに後ろから呼ばれたので振(ふ)り向(む)いたら、課長だった。
2. 道を渡るときは、左右を振(ふ)り向(む)いて車が来ないことを確(かく)認(にん)しよう。
3. だれかが空を指(ゆび)さしたので、近くにいた人たちが一(いつ)斉(せい)に上を振(ふ)り向(む)いた。
4. 森(もり)さんは私を見ると、恥ずかしそうに下を振(ふ)り向(む)いたまま顔を上げなかった。

(30). 用途

1. 新しい趣味を始めるため、時間の用途を工夫することにした。
2. 会社での私の用途は、新入社員の指導をすることだ。
3. 鈴(すず)木(き)さんの才能は、多くの用途に生かされるだろう。
4. 本来の用途ではないが、この容器は花(か)瓶(びん)にしてもいいと思う。

(31). 甘やかす

1. 今年のA社の就(しゅう)職(しょく)試(し)験(けん)は、昨年より内容が甘やかされている。
2. 林(はやし)さんは、ずっと親に甘やかされて育ったせいか、わがままで困る。
3. ひどくなったら大変だから、風(か)邪(ぜ)を甘やかさないほうがいいですよ。
4. 今日は、いつもより多めに砂(さ)糖(とう)を入れて、コーヒーを甘やかした。

(32). 行方(ゆくえ)

1. この写真の二人は事件に関係があるらしいが、まだ行方(ゆくえ)が分からない。
2. 慌(あわ)てていたので、行方(ゆくえ)を確かめずにバスに乗ってしまった。
3. 交差点を右に曲がると、行方(ゆくえ)に黒い高層ビルが見えた。
4. 日曜日の私の行方(ゆくえ)はいつも決まっていて、近くの喫(きつ)茶(さ)店(てん)か図書館だ。

語法部分

問題7 次の文の()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(33). 南極の氷を調べること() 数十万年前の地球の気候を知ることができるそうだ。

1. によって
2. にとって
3. に関して
4. に対して

(34). この曲は、私には難しすぎて() 弾(ひ)けそうにない。

1. だんだん
2. 今にも
3. 必ず
4. とても

(35). 入社試験の面接で、緊(きん)張(ちよう)の()、声が震えてしまった。

1. わけで
2. あまり
3. ことに
4. 中を

(36). 森川動物園は、森川駅からバスで30分() 行ったところにある。

1. など
2. などに
3. ほど
4. ほどに

(37). (メールで)

4月20日に新入生歓迎会を開きますので、ぜひご参加ください。なお、場所は()、お知らせします。

1. 決まったおかげで
2. 決まり次第
3. 決まって以来
4. 決まる一方で

(38). この地域のみかんの生産量は、2000年から2003年にかけて一時減少した()、再び増加し、2010年には過去最高となった。

1. として 2. のかどうか 3. からには 4. ものの

(39). (育児書で)

赤ちゃんの熱が少しあると心配になるかもしれませんが、熱が多少あっても、元気に遊んでいるなら、()。

1. 慌(あわ)てることはありません 2. 慌(あわ)てざるを得ません
3. 慌(あわ)てずにはいられません 4. 慌(あわ)てるに違いありません

(40). (就(しゅう)職(しょく)説明会で)

「就(しゅう)職(しょく)活動とは、企業に応募することです。この企業で働きたいと思っけていても、応募()、何も進みません。まずは応募しましょう。」

1. してみるより 2. できるといいし
3. しないことには 4. するのではなく

(41). 先月、エアコンを()使っていたら、電気代が2万円を超(こ)えてしまった。

1. 使いすぎて 2. 使ったまま
3. 使いたいただけ 4. 使いつづけた

(42). 山(やま)川(かわ)「ごめんね。田(た)村(むら)さんに借りたCD、今日返そうと思っていたのに、持ってくるの忘れちゃった。」

田(た)村(むら)「ああ、別に急がないから、次に会うときに()よ。」

1. 持ってきてくれるはずだ 2. 持ってきてあげるつもりだ
3. 持ってきてくれればいい 4. 持ってきてあげたほうがいい

(43). まだ読んでいない本が10冊もあるから、しばらく本は()と決めていたのに、面白そうな本を見つけて、つい買ってしまった。

1. 買うべきじゃなかった 2. 買わないでいたんだ
3. 買っていないだろう 4. 買わずにおこう

(44). 昨日、天気がよかったので公園に出かけた。春の日ざしが暖かく、風が気持ちよくて、ベンチに座っていると、つい()。

1. 眠そうだった 2. 眠ってしまいそうになった
3. 眠そうにしていた 4. 眠っていそうだった

問題8 次の文の ★ に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(45). 優しい子になってほしい。娘の ____ ★ ____ 込めたからだ。

1. 「優(ゆう)子(こ)」に 2. そういった願いを
3. 名前を 4. したのは

(46). 日本で携(けい)帯(たい)電話が発売されて約20年。いまや携(けい)帯(たい)電話は ____ ★ ____ 定着したといえるのではないか。

1. に欠かせない 2. 道具
3. として 4. 生活

(47). 私は、スケジュール ____ ★ ____ 常に考えながら作業をしている。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. どうすればいいか | 2. どおりに |
| 3. には | 4. 仕事を進める |

(48). 筋(きん)肉(にく)トレーニングを ____ ____ ★ ____ 効果は全く違います。

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. 今自分がどこを鍛(きた)えているのか | 2. しているとき |
| 3. しないのでは | 4. 意識するのと |

(49). 「みるく屋」は、A 市に ____ ____ ★ ____ です。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 有名な | 2. 住んでいる人なら |
| 3. 知らない人はいないくらい | 4. お菓子屋さん |

阅读部分

問題9 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、(50) から (54) の中に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

以下は、留学生が書いた文章である。

「のぼり」

シルバ ジョゼ

それを見たのは、日本に着いた日、空港からホテルへバスで向かっているときだった。高さは (50) 。

青い布に白い字で「夏祭り」と書かれた大きな長方形の旗が道路沿いに一定間(かん)隔(かく)で何本も立っていたのだ。初めて見る、面白い光景だった。

このとき、「この旗は何だ?」と思った。しかし、街を歩くと、あちこちに似たような旗があり、それらを見ているうちに、「これは広告だ。」と気づいた。旗にはそれぞれ、「お弁当」、「食べ放題」、「本日特売日」といった短い言葉が書かれている。(51) 旗も色が派(は)手(で)で高さがあり、1本でもよく目立つ。そのため自然と目が行く。また、何本か同じ旗が並んで立っていると、まるで一つの大きな看板のように見える。さらに、旗はどこにでも簡単に立てられるから、街のあちこちで (52) 。私はこの旗に強い関心を持った。

(53) 、この旗は「のぼり」というそうだ。サイズは縦(たて)180センチ、横60センチのことが多い。布の上部と片方の端に棒(ぼう)が通してあり、風が吹かなくても見えるようになっている。今の形ののぼりは、600年ぐらい前にはすでにあり、当時は戦いで自分の軍と敵の軍とを見分けるために使われていたらしい。時代は変わり、今はそのような目的で使われることはない。だが、今も、情報を一(いつ)瞬(しゅん)ではっきりと伝えたいときにのぼりを使うのは (54) 。のぼりの特徴をとらえ、広告に応用した発想に感心した。

(50)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 2メートルくらいだったろうか | 2. 2メートルくらいだったものなのか |
| 3. 2メートルくらいだと言われたそう | 4. 2メートルくらいだと思われていたことだ |

(51) 1. このように 2. あのように 3. どの 4. そちらの

(52) 1. 使われている 2. 使っていく 3. 使おう 4. 使わせる

(53) 1. 以上から 2. 旗といえば 3. しかしながら 4. 調べてみたところ

(54) 1. 変わらないこともない 2. 変わらないようだ 3. 変えないでおきたい 4. 変えなければならない

問題 10 次の (1) から (5) の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1). 学習者は真剣に外国語に取り組んでいるのに、どうしても間違ってしまう。間違えるのは仕方のないことだけれど、せっかく規則を覚えてそれを応用したつもりなのに、「それは例外」とかいわれると、何だかやる気がなくなってしまう。

このような誤(ご)用(よう) (注) をきちんと分析すれば、その成果としてすばらしい教科書ができるはずだ。本来教科書とはその対象である学習者のことをよく考えて、難しそうなところ、間違えそうなところをきちんと分かりやすく説明する必要があるのだ。

(黒田龍之助『外国語の水曜日—学習法としての言語学入門』による)

(注) 誤(ご)用(よう)：間違った使い方

(55). 外国語の教科書について、筆者はどのように述べているか。

1. 学習者が成果を実感できるものを作成するべきだ。
2. 学習者が真剣に取り組めるように工夫をするべきだ。
3. 学習者が間違えやすいところを丁(てい)寧(ねい)に説明するべきだ。
4. 学習者のやる気が出るようにすべての規則を説明するべきだ。

(2). 以下は、あるイベント会場で来場者に配られたものである。

プレゼントをもらおう！

本日は「第7回河上町・花と木の祭り」にご来場くださり、ありがとうございます。

会場内の8か所のスタンプ台に種類の異なるスタンプが置かれていますので、スタンプカードに押してください。スタンプカードは各スタンプ台のところに置いてあります。5種類以上のスタンプを押したら、会場入口の総合受付にお持ちください。花の種と交換いたします。また、全種類のスタンプを押してから総合受付でアンケートにご協力いただいた方には、鉢(はち)植(う)えの花もご用意しております。

何かご不明な点がございましたら、お気軽に会場スタッフにお声をおかけください。

(56). 鉢(はち)植(う)えの花をもらいたい場合は、どうすればいいか。

1. 総合受付でアンケートに協力し、8種類の異なるスタンプを押してから再び総合受付へ行く。
2. 最初のスタンプ台のところでアンケートに協力し、5種類の異なるスタンプを押してから総合受付へ行く。
3. 5種類の異なるスタンプを押してから、最後のスタンプ台のところでアンケートに協力する。
4. 8種類の異なるスタンプを押してから、総合受付へ行ってアンケートに協力する。

(3). ある楽器メーカーによって、新しい木材を古い木材のように変化させる技術が開発された。長い年月をかけて木材に起こる変化を、短期間に人工的に起こさせるのだそうだ。バイオリンなどの木製楽器では製造後数百年たったものが素晴らしい音を出すとされている。名器といわれるようなものは数も少なく非常に高価で、手に入れることが難しい。この技術を利用することで、名器並(な)み (注) の優れた楽器が入手しやすくなるだろう。そんな楽器がそろったオーケストラの演(えん)奏(そう)が聴(き)ける日もそう遠くはないかもしれない。

(注) ～並(な)みの：～と同じような

(57). そんな楽器とは、どのようなものか。

1. 新しい技術で作られていて、名器よりも素晴らしい音が出せるもの
2. 古い木材で作られていて、名器よりも素晴らしい音が出せるもの
3. 長い年月をかけて作られていて、名器のような音が出せるもの
4. 新しい木材で作られていて、名器のような音が出せるもの

(4). 子育てでは「褒(ほ)める」ことが大事とよくいわれますが、私はそれは少し違うと考えています。褒(ほ)めるということは一つの価値判断であり、親が褒(ほ)めるのは、より強化したい子どもの行(こう)為(い)であり、子どもは親のその価値観を刷(す)り込まれ(注)ながら育っていきます。つまり、「褒(ほ)める」ということは、親から子どもへの「命令」を含んでいるのです。その意味においては、その行(こう)為(い)をするなという「叱(しか)る」行(こう)為(い)と同じと捉(とら)えることができます。

(小池龍之介『平常心のレッスン』による)

(注) 刷(す)り込まれる：ここでは、身につけさせられる

(58). 筆者によると、「褒(ほ)める」とは親が何をすることなのか。

1. 子どもに親自身の価値観を押しつけること
2. 子どもにさまざまな価値観を示すこと
3. 子どもを常識的な価値観に従わせること
4. 子ども自身が持つ価値観を認(みと)めること

(5). 市場競争は、誰(だれ)にとっても厳(きび)しいものである。市場で生き残るためには、市場競争という規律付けに従っていく必要がある。競争が大好きという人もいるかもしれないが、競争させられるのは嫌だ、という人も多いだろう。競争から逃(のが)れて、安心できる生活をしたいという人も多いはずだ。それでも市場競争という仕組みを私たちが使っていくのは、市場競争のメリットがデメリットよりも大きいからである。より豊かになれること、誰(だれ)にでも豊かになるチャンスがあることが大きなメリットである。

(大竹文雄『競争と公平感』による)

(59). 筆者の考えに合うのはどれか。

1. 市場競争によって安心できる生活が保証される。
2. 市場競争によって豊かになる機会が与えられる。
3. 市場競争がなければ豊かな生活は送れない。
4. 市場競争に参加しないで生きることはできない。

問題 11 次の(1)から(3)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1) . 話す場合には、たいがい(注1)、聞き手がすぐ近くにいて、そのとき、その場で自分の考えに表現を与えながら、さらなる考えを進めていく。(中略)

それに対して、①書くという表現の場合には、たいていはひとりで、じっくり時間をかけて、ノートやパソコンなどを使って、考えたことを文字にしていったり、あるいは考えながら文字にしていけることが多いはずだ。考えたことが消えずに文字として残ることも、話す場合とは大きく違う点だ。ちょうど本という活字メディア(注2)が、読者にとって自分のペースで考えながら読んでいけることができるのと同じように、書くという行(こう)為(い)は、話すのと違って自分のペースで、行きつもどりつ(注3)しながら、考えを進めていける表現方法なのです。

しかも、考えたことを文字にしていける場合、いい加減であいまいなままの考えでは、なかなか文章になりません。何となくわかっていることでも、話し言葉でなら、「何となく」のニュアンス(注4)を残したまま相手に伝えることも不可能ではありません。それに対して、書き言葉の場合には、その②「何となく」はまったく伝わらない場合が多いのです。身(み)振(ぶ)りも手(て)振(ぶ)りも使えません。顔の表情だって、読み手には伝わりません。それだけ、あいまいではなく、はっきりと考えを定着させることが求められるのです。そのような意味で、書くという行(こう)為(い)は、もやもやした(注5)アイデアに明確なことを与えていくことであり、だからこそ、書くことで考える力もついていくのです。

(荻谷剛彦『知的複眼思考法—誰でも持っている創造力のスイッチ』による)

(注1) たいがい：たいてい

(注2) 活字メディア：ここでは、活字で書かれたもの

(注3) 行きつもどりつ：行ったり来たり

(注4) ニュアンス：ここでは、微(び)妙(みょう)な感じ

(注5) もやもやした：ぼんやりした

(60). ①書くという表現をする場合の特徴として、筆者が述べているのはどれか。

1. 時間をかけるほどうまく書くことができる。
2. 読み手の反応を想像しながら書くことができる。
3. 道具を利用するので考えを早くまとめることができる。
4. 何度もやり直しをしながら考えを進めることができる。

(61). ②「何となく」はまったく伝わらない場合が多いとあるが、なぜか。

1. 読み手とのやり取りがないから
2. 読み手によって受け取り方が変わるから
3. 微(び)妙(みょう)な感覚を表現する言葉が少ないから
4. 文字以外に表現手段がないから

(62). この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

1. 話すより書くほうが、自分の考えを人に伝えられる。
2. 自分の考えを書いて表現することで、思考力が向上する。
3. 時間をかけて何度も書き直せば、わかりやすい文章が書ける。
4. 思考力をつけるためには、あいまいな考えは書かないほうがいい。

(2). 飲み物を買いに飲料売り場に行くと、商品が多様になっていることに気づく。これらの中から消費者に自社の製品を選(せん)択(たく)してもらうため、メーカーは味はもちろん、ボトルにもこだわっている。

あるメーカーが、仕事中に飲んでもらうことをねらって緑茶の新製品を開発した。仕事中によく飲まれているコーヒーの代わりになるように、味は通常より濃くした。また、ボトルはペットボトルではなく、コーヒーに多く使われる金属製のものとし、香りが楽しめるように飲み口を広くした。ボトルの色使いは濃い緑や黒や金などにして、味の濃さや高級感を表現した。これらの努力が実り、①ねらいどおりに好調な売れ行きを見せているという。

この例のようにメーカーがボトルにもこだわるのは、消費者にボトルの材質や形の好き嫌いがあるという事実があるからだ。緑茶のボトルに関する②ある消費者調査の結果を見ると、金属製ボトルに対して、60歳未満の人は高級感を感じ好印象を持っているが、60歳以上の人は抵抗を感じ、ペットボトルのほうを好むことがわかった。しかし、ペットボトルを好むといっても、その形や色については意見が分かれた。60歳以上の男性は見慣れた形や色のペットボトルの評価が高いが、同年代の女性は目新しい形や色のペットボトルに好感を持っていた。

年代や性別によってこのように好みが分かれる以上、店に多様な商品が並ぶことになるのはもっともなことだろう。

(63). ①ねらいどおりに好調な売れ行きを見せているとあるが、どのような人たちによく売れているのか。

1. 仕事中にコーヒーを飲んでいた人たち
2. 高級なコーヒーをよく飲んでいた人たち
3. 他とは違う緑茶製品を求めていた人たち
4. 緑茶の香りを楽しみたいと思っていた人たち

(64). ②ある消費者調査の結果について、この文章で述べられているのはどれか。

1. 金属製ボトルに対する抵抗感には男女差がある。
2. 金属製ボトルに対しては、60歳を境に好みが分かれる。
3. 目新しい形や色のペットボトルは、性別を問わず好まれる。
4. 60歳以上の人は、男女ともに見慣れた形や色のペットボトルを好む。

(65). メーカーの取り組みについて、この文章からわかることは何か。

1. 味だけでなく容器にも消費者の好みを反映させている。
2. 味より見た目を重視するようになってきている。
3. メーカーに対する消費者の印象を良くしようとしている。

4. 年代や性別の違いを超(こ)えて売れる商品を開発している。

(3). 大人になってからの勉強で、なかなか理解が進まないことの大きな原因の一つが、実は、復習をちゃんとしな
いことにある。学生時代の勉強は、いやでも復習がカリキュラムの中に織(お)り込まれている(注1)ので、知識が
定着しやすくなっている。これに対して、大人になって自分で勉強するときには、意識して復習の機会をつくら
ないと、一回本を読んだだけで「もうわかった。大丈夫」と思い込んでしまいがちになるのだ。

脳(のう)の特性(注2)として、目や耳から入った情報をいったん溜(た)めておいて、その中から必要のないと思
われる情報を自動的に脳(のう)の奥(おく)底(そこ)にしまい込んでしまう。では、どこで、「必要な情報」と「無用
な情報」をより分けている(注3)のかというと、同じ情報が繰(く)り返し入ってくるかどうかということである。
この間(かん)隔(かく)は一カ月と言われており、すなわち、一カ月の間で最低二回繰(く)り返して頭に入れることで、
「必要な情報」だと脳(のう)が認識(にんしき)し(注4)、知識が定着していくのである。逆に言えば、一度頭に入
れて覚えたつもりでも、一カ月の間に繰(く)り返し情報が入ってこなければ、いずれは「無用な情報」として脳(の
う)がどこかに片付てしまうのだ。

この結果、いったん覚えたはずの知識が、しばらくすると記憶の中から掻(か)き消えて(注5)しまったようにな
り、実際に試験をしてみるとまったく思い出せないということが起こる。そこで、「年をとって記憶力が弱くなった」
とか、「できていたはずなのに」と落ち込んでしまうけれど、実際には老化のせいでも何でもなく、単に復習をして
いないだけだということが多いのだ。

(和田秀樹『40代からの勉強法—やる気・集中力をどう高めるか』による)

(注1) 織(お)り込まれる：ここでは、入っている

(注2) 特性：ここでは、特徴的な働き

(注3) より分ける：ここでは、分類する

(注4) 認(にん)識(しき)する：ここでは、判断する

(注5) 掻(か)き消える：なくなる

(66). 筆者によると、学生時代のほうが知識が定着しやすいのはなぜか。

1. 大人より記憶力が優れているから
2. 大人と比べて「わかった」という思い込みをしないから
3. 学校では一度学んだことを繰(く)り返し勉強するから
4. 学校では覚えたほうがいい知識だけが教えられているから

(67). 筆者によると、一カ月以内にどうすれば知識が定着していくか。

1. 得た情報をすでに持っている情報と関連づける。
2. 得た情報をもう一度思い出して整理する。
3. 得た情報と関係のある情報を繰(く)り返し頭に入れる。
4. 得た情報と同じ情報をもう一度頭に入れる。

(68). 筆者の考えに合うのはどれか。

1. 大人が勉強する場合には、意識して復習を取り入れることが大切だ。
2. 大人が知識を習得するには、学生時代より多く復習しなければならない。
3. 復習を習慣にすれば、老化による記憶力の衰(おとろ)えを防ぐことができる。
4. 一度忘れてしまった知識でも、復習すれば思い出すことができる。

問題 12 次の A と B の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

A

自分の中にある固定観念(注1)、思い込み、価値の枠(わく)組みを組み替えたり、転換することはなかなか難しい。特にスポーツ選手は、「始めた以上はやり通せ」ということを常に言われて育っていく。その考え方が染(し)みついて、なかなか疑うことができない。途中変更することは目標をあきらめることで、いけないことだと思い込んでいる選手も多い。

でも、本当に一つの目標を固く決めつけて死守する(注2)必要が、あるのだろうか。

(中略)

もちろん、真(ま)面(め)目(め)に一本の道をつきつめる(注3)ことも大切だろう。でも、どうしてもうまくいかない時には、少し視点をずらしてみたり、大(だい)胆(たん)(注4)に組み替えたりしてみることも、また大切な方法ではないかと思う。

(為末大『「遊ぶ」が勝ちー「ホモ・ルーデンス」で、君も跳べ!』による)

B

最近のスポーツ選手に目標をたずねると「世界で活躍(かつやく)したい」という答えが多く返ってくる。世界的な大会やチームで活躍(かつやく)する選手が増えた結果だろう。だが私が指摘したいのは、目標が大きすぎたり遠すぎたりするために、しなければならないことが具体的にイメージできず、途中でやる気を失ってしまう選手が多いことだ。

大きな夢を実現するには、長期間にわたる日々の努力が欠かせない。意欲を持続させるためには、少しずつでも前に進んでいると感じられる達成感が必要だ。目標が大きすぎてすべきことが見えなくなってしまった時には、今の自分に一番必要なことを考えて目標を見直してほしい。

(注1) 固定観念：簡単には変わらない考え

(注2) 死守する：ここでは、最後まで守る

(注3) つきつめる：最後までやる

(注4) 大(だい)胆(たん)に：思い切って

(69). スポーツ選手の目標の持ち方について、A と B はどのような場合が多いと述べているか。

1. A も B も、あいまいな目標を立てる場合が多いと述べている。
2. A も B も、一つの目標を目指し続けなければならないと思込んでいる場合が多いと述べている。
3. A は目標を変えてはいけなと信じている場合が多いと述べ、B は大きすぎる目標を立てる場合が多いと述べている。
4. A は目標達成にこだわらすぎている場合が多いと述べ、B は世界で活躍する選手と同じような目標を立てる場合が多いと述べている。

(70). A と B が共通して重要だと考えていることは何か。

1. 確実に達成できる目標を立てること
2. 小さな目標から着実に達成していくこと
3. 先に進めなくなつた時には目標を修正すること
4. うまいいかなくても最初の目標をあきらめないこと

問題 13 次の文章を読んで、後の問に対する答として最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

以下は、自分の仕事として、さまざまな地域の課題に住民とともに取り組んでいる人が書いた文章である。

よく考えてみれば、幼稚園のころから僕(ぼく)はずっとヨソモノ(注1)だったような気がする。親が転勤族だったため、おおむね4年に一度は転校生になる。クラスに馴(な)染(じ)んできた(注2)なあ、と思つたころに引越することになる。幼稚園も小学校も中学校もふたつずつ通つた。そのたびに転校生としてクラスをヨソモノの視点から観察する。誰(だれ)がクラスのボス(注3)なのか。誰(だれ)と仲良くなると仲間に入れてもらいやすいのか。誰(だれ)と誰(だれ)は仲が良くて、誰(だれ)とは仲が悪いのか。そういうことばかり読み取ろうとしていた。自分でも嫌な小学生だと思つていたが、そうやって自分の立ち位置を見つけなければクラスの中に入っていくのが難しかった。

いまも①同じことをしているような気がする。集落(注4)へ行つては、誰(だれ)が権(けん)力(りょく)者(注5)なのか、誰(だれ)が正しいことをいっているのか、誰(だれ)の意見が重視されているのか。誰(だれ)と誰(だれ)は仲がいいのか。そんなことを読み取ろうとしている。そして、4年くらい経(た)つたらその集落からいなくなる。いまでも転校生のような生活である。

そんな少年時代だったから、「出身地はどこですか？」と聞かれるのがつらい。どこも4年間しか住んでいないので、出身地は適当に決めるしかない。出生地(注6)は明確だが、僕(ぼく)の場合は生後2年間しかその場所に住んでいない。もちろん当時の記憶はない。

だから「ふるさと」を持つ人に対する憧(あこが)れがある。「いつかは地元に戻つて働きたいと思つているんだ」「出身地を元気にしたいと思つています」という言葉を聞くたびに②羨(うらや)ましくなる。逆に、ふるさとを悪くいう言葉を聞くのはつらい。「田舎(いなか)だから」「何もないから」「足を引っ張り合う(注7)」「新しいことができない」。せつかくふるさとを持っているのに、それを悪くいうのはもったいない。ふるさとはいい場所であつて欲しい。だから、その手伝いがしたいと思う。どこまで行つてもヨソモノだが、その立場から少しでもふるさとがよい状態になるように努力したい。どの場所も、たくさんの人にとってのふるさとであり続けるのだから。

- (注1) ヨソモノ：よそから来た人
- (注2) 馴(な)染(じ)む：慣れて親しくなる
- (注3) ボス：ここでは、力を持った人
- (注4) 集落：ここでは、村のようなところ
- (注5) 権(けん)力(りょく)者：ここでは、力を持った人
- (注6) 出生地：生まれた場所
- (注7) 足を引っ張り合う：成功するのをじゃまし合う

(71). ①同じこととあるが、集団の中でどのようなことをしているのか。

1. 仲間になれるように努力すること
2. 仲間に入らないようにすること
3. 自分と合う人を見つけ出すこと
4. 人間関係を観察すること

(72). ②羨(うらや)ましくなるとあるが、なぜか。

1. 自分のふるさとの記憶はあいまいだから
2. 自分のふるさとは嫌な思い出しかないから
3. 自分にはふるさとと呼べる場所がないから
4. 自分にはふるさとの良さがわからないから

(73). 筆者の考えに合うのはどれか。

1. 誰(だれ)にとってもふるさとだと思えるような理想の場所をつくりたい。
2. みんなが自分自身のふるさとをいい場所だと思えるようにしたい。
3. ヨソモノであっても、受け入れてくれるようなふるさとをつくりたい。
4. ふるさとのない人にも、ふるさとというものの良さを伝えられるようにしたい。

問題 14 右のページは、「バーベキュー会場開設のお知らせ」である。下の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

バーベキュー会場開設のお知らせ

南の丘公園内で本格的なバーベキューが楽しめます

「開設期間」 4月1日～11月30日

「利用時間」 ① 10:30～14:30 (4時間)

② 15:00～19:30 (4時間)

「利用料金」 個人：1200円 (1名分)

施設および調理器具使用料となります。

バーベキューの材料は、各自ご持参いただくか、会場内で下記の＜バーベキューセット＞をご購入ください。

飲み物も自由にお持ち込みいただけます。会場内でも販売しております。

利用時間①②を続けて利用される場合、利用料金は2回分必要となります。

＜団体割引＞

団体でのご利用は割引料金が適用されます。20名以上：1000円 (1名分)

＜バーベキューセット＞

バーベキューに必要な材料がそろったお得なセットです。以下の2種のメニューからいずれかをお選びください。

ボリュームセット	2000円 (1名分)	：数種類のお肉と野菜がたっぷり
ミックスセット	2400円 (1名分)	：お肉と魚介類の両方が楽しめる

「利用方法」

ホームページ、またはお電話で、事前にご予約ください。

ご利用日の1か月前から先着順でご予約を受け付けます。団体でご予約のお客様は、2か月前から優先予約が可能です。

空きがある場合のみ、当日のご利用も可能です。

料金は、ご利用日当日、会場でお支払いください。

「注意」

- (1) お客様が調理器具を持ち込むことはできません。
- (2) 花火やカラオケなど他の利用者や近隣の住民の方への迷惑となる行為は禁止です。
- (3) 屋外施設のため、強風などの悪天候により営業を中止する場合があります。

南の丘公園バーベキュー予約センター

ホームページ： <http://www.mimaminooka-koen.com/bbq>

電話：0558-055-5555

(74). チェさんは、職場の同僚とバーベキューに行くことになった。費用を調べるように頼まれたので、日時と人数などを聞いてメモをじた。費用は一人いくらかかるか

チエさんのメモ

. 11月15日(日) 10:30~14:30

. 参加者 25人

. ボリュームセット 25人分

. 飲み物は会社から持参

1. 利用料金 1,000 円のみ
2. 利用料金 1,200 円のみ
3. 利用料金 1,000 円とバーベキューセット代 2,000 円
4. 利用料金 1,200 円とバーベキューセット代 2,000 円

(75). この施設を利用する際に気をつけなければならないことは、次のうちどれか。

1. 飲み物と調理器具は、各自が持参する。
2. 10:30 から 19:00 まで利用する場合、2 回分の利用料金を払う。
3. 団体で利用する場合、予約は 2 か月前にしておく。
4. 予約と料金の支払いは、利用の前日までに済ませておく。

聴解部分

問題 1 では、まず質問を聞いてください。それから話を聞いて、問題用紙の 1 から 4 の中から、最もよいものを一つ選んでください。

1 番

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 案内のメールを送る | 2. 学校の先生にちらしを配る |
| 3. じゅくにちらしを持っていく | 4. ちらしにイラストを加える |

2 番

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 食料品を買いに行く | 2. 電球を取り替える |
| 3. 庭の手入れをする | 4. 食事を作る |

3 番

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. おみやげを買いに行く | 2. ひしよかに相談に行く |
| 3. 観光案内の計画を立てる | 4. おみやげのこうほを課長に伝える |

4 番

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. イベント前日の午前中 | 2. イベント前日の午後 |
| 3. イベント当日の午前中 | 4. イベント当日の午後 |

5 番

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. こうせいを考え直す | 2. 去年のデータをくわしくぶんせきする |
| 3. 一昨年以前のデータを集める | 4. 今後の課題をていじする |

問題 2 では、まず質問を聞いてください。そのあと、問題用紙のせんたくしを読んでください。読む時間があります。それから話を聞いて、問題用紙の 1 から 4 の中から、最もよいものを一つ選んでください。

1 番

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 時間によゆうができたから | 2. 友人にさそわれたから |
| 3. 前からきょうみがあったから | 4. 運動不足が解消できるから |

2 番

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. ほかのぼうしより暖かいから | 2. 色がきれいだから |
| 3. まごからのプレゼントだから | 4. 自分で作った物だから |

3 番

- | | |
|----------|---------------|
| 1. 大学の食堂 | 2. 大学の前のきつさてん |
| 3. 大学の教室 | 4. 駅の近くの貸し会議室 |

4 番

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 前の会社でかいごに関する仕事をしたこと | 2. かいごに関するテレビドラマを見たこと |
| 3. けがをした家族のかいごをしたこと | 4. 知り合いからかいごについて話を聞いたこと |

5 番

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 小さいころからきょうみを持つ本をあたえる | 2. 小さいころから文字をしっかり教える。 |
| 3. 小さいころから絵本を読んでやる | 4. 小さいころから物語の感想を話させる。 |

6 番

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 広告のこうかが出ていないこと | 2. 生産が注文に追いついていないこと |
| 3. 原料の価格が高くなったこと | 4. ほかの会社から同じような商品が出たこと |

問題3では、問題用紙に何もいんさつされていません。この問題は、全体としてどんな内容かを聞く問題です。話の前に質問はありません。まず話を聞いてください。それから、質問とせんたくしを聞いて、1から4の中から、最もよいものを一つ選んでください。

問題4では、問題用紙に何もいんさつされていません。まず文を聞いてください。それから、それに対する返事を聞いて、1から3の中から、最もよいものを一つ選んでください。

問題5では、長めの話を聞きます。この問題には練習はありません。問題用紙にメモをとってもかまいません。

1 番、2 番

問題用紙に何もいんさつされていません。まず話を聞いてください。それから、質問とせんたくしを聞いて、1から4の中から、最もよいものを一つ選んでください。

3 番

まず話を聞いてください。それから、二つの質問を聞いて、それぞれ問題用紙の1から4の中から、最もよいものを一つ選んでください。

質問1 男の人と女の人はいちどどの花を買いたいと言っていますか。

質問2 女の方は職場にどの花を買いたいと言っていますか。